

- メントテスト (CAT) と Mini Nutritional Assessment(MNA)による栄養評価との関連. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会.2012.
- 233) 須崎康恵, 本津茂人, 児山紀子, 山本佳史, 大田正秀, 木村弘: 進行期肺癌化学療法の迅速な導入を目指した地域連携パス運用の試み. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会.2012.
- 234) 友田恒一, 大崎茂芳, 吉川雅則, 木村弘: ヒト肺における二次元方向での力学異方性. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会.2012.
- 235) 中村篤宏, 茨木敬博, 太田浩世, 伊藤武文, 山本佳史, 山内基雄, 友田恒一, 吉川雅則, 濱田薫, 木村弘: 肺高血圧症症例における右心カテーテルと心エコー所見の対比. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会.2012.
- 236) 太田浩世, 玉置伸二, 広中安佐子, 山内晶世, 土田澄代, 山内基雄, 吉川雅則, 高沢伸, 木村弘: 睡眠時無呼吸症候群に伴う間歇的低酸素曝露によるインスリン分泌障害. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会.2012.
- 237) 藤田幸男, 山内基雄, 中村篤宏, 太田浩世, 大屋貴広, 熊本牧子, 山本佳史, 本津茂人, 児山紀子, 須崎康恵, 友田恒一, 吉川雅則, 木村弘: CPAP アドヒアランス予測因子としての呼吸不規則性の可能性. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会.2012.
- 238) 山内基雄, 吉川雅則, 牧之段潔, 福岡篤彦, 藤田幸男, 児山紀子, 玉置伸二, 山本佳史, 友田恒一, 木村弘: 『肥満低換気症候群は稀少疾患として位置づけるべきか?』—肥満度と呼吸調節機構からみた OSAS との差異—. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会.2012.
- 239) 木村弘: 呼吸器疾患による肺高血圧症. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会.2012.
- 240) 駒瀬裕子, 國近尚美, 別役智子, 木村弘: 呼吸器診療に携わる女性医師支援策の提言. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会.2012.
- 241) Motoo Yamauchi, Hiroshi Kimura: OSA Phenotype and Breathing Irregularity. *Worldsleep* 2011.
- 242) Motoo Yamauchi, Masanori Yoshikawa, Yoshinobu Ohnishi, Hiroshi Nakano, Kingman P: Strohl, Hiroshi Kimura. CPAP acceptance and resting breathing irregularity during wakefulness in obstructive sleep apnea. *The 12th Sleep and Breathing International Conference in Barcelona, 2011.*
- 243) 木村弘, 吉川雅則: 日本呼吸器学会の立場から—COPD ガイドラインの改定と今後の問題点—. 第 21 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2011.
- 244) 吉川雅則, 木村弘: COPD における栄養管理の実際. 第 21 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2011.

- 245) 山内基雄, 藤田幸男, 吉川雅則, 大西徳信, 中野博, 木村弘: 閉塞性睡眠時無呼吸症候群における覚醒時安静呼吸の不規則性と CPAP アクセプタンス. 第 21 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2011.
- 246) 山本佳史, 吉川雅則, 藤田幸男, 友田恒一, 山内基雄, 児山紀子, 玉置伸二, 木村弘: 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者における血中グレリンおよびアディポサイトカインと体重変化. 第 21 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2011.
- 247) 藤田幸男, 吉川雅則, 山本佳史, 友田恒一, 山内基雄, 児山紀子, 玉置伸二, 木村弘: 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者における骨密度と骨代謝マーカー. 第 21 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2011.
- 248) 山内基雄, 木村弘: OSAS の多様性と治療戦略. 第 36 回日本睡眠学会学術集会シンポジウム, 2011.
- 249) 吉川雅則, 中村篤宏, 濱田薫, 眞貝隆之, 高濱潤子, 三浦幸子, 玉置伸二, 友田恒一, 木村弘: 膠原病に合併した肺高血圧症における MDCT(multidetected-row CT)の検討. 第 23 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2011.
- 250) 木村弘: 肺高血圧症の新分類, 診断と呼吸器疾患合併肺高血圧症. 第 51 回日本呼吸器学会学術講演会, 2011.
- 251) 児山紀子, 田崎正人, 早川正樹, 藤田幸男, 山本佳史, 本津茂人, 山内基雄, 須崎康恵, 玉置伸二, 友田恒一, 吉川雅則, 木村弘: IVC フィルターを挿入した肺血栓塞栓症合併原発性肺癌の臨床的検討. 第 51 回日本呼吸器学会学術講演会, 2011.
- 252) 鹿子木貴彦, 玉置伸二, 赤塚沙知子, 坂口和宏, 友田恒一, 吉川雅則, 木村弘: 多彩な内分泌異常症を伴い、全身化学療法を行った Langhans cell histiocytosis(LCH)の一例. 第 51 回日本呼吸器学会学術講演会, 2011.
- 253) 本津茂人, 須崎康恵, 児山紀子, 田崎正人, 大田正秀, 吉川雅則, 木村弘: 後期高齢者切除不能 3 期非小細胞肺癌に対する化学放射線療法および放射線単独療法の検討. 第 51 回日本呼吸器学会学術講演会, 2011.
- 254) 赤塚沙知子, 濱田薫, 児山紀子, 友田恒一, 吉川雅則, 笠井孝彦, 木村弘: リンパ脈管筋腫症における LAM 細胞組織と嚢胞形成に関する検討. 第 51 回日本呼吸器学会学術講演会, 2011.
- 255) 友田恒一, 大崎茂芳, 吉川雅則, 木村弘: ヒト肺における力学応力に関係したコラーゲン線維の配向性. 第 51 回日本呼吸器学会学術講演会, 2011.
- 256) 玉置伸二, 友田恒一, 藤田幸男, 山本佳史, 児山紀子, 山内基雄, 吉川雅則, 濱田薫, 木村弘: 当院における迅速発育菌群による肺非結核性抗酸菌症の検討. 第 51 回日本呼吸器学会学術講演会, 2011.
- 257) 田崎正人, 島田啓司, 須崎康恵, 本津茂人, 辻川和丈, 小西登, 木村弘:

- 非小細胞肺癌における PCA-1 発現の臨床的意義. 第 51 回日本呼吸器学会学術講演会, 2011.
- 258) 天野逸人, 田中晴之, 星野永, 田中志津, 長谷川淳, 早川正樹, 森井武志, 木村弘: 臍帯血は免疫抑制剤早期減量が可能な移植ソースである. 第 33 回日本造血細胞移植学会総会, 2011.
- 259) 長谷川淳, 田中志津, 星野永, 田中晴之, 天野逸人, 森井武志, 木村弘: G-CSF-priming-Ara-C+Busulfan(BU)+Fludarabine(FLU)による non-TBI レジメンで造血細胞移植を行った Myeloid Malignancy 13 例の検討. 第 33 回日本造血細胞移植学会総会, 2011.
- 260) 田中晴之, 天野逸人, 長谷川淳, 田中志津, 星野永, 森井武志, 木村弘: 中枢神経浸潤が疑われたリンパ系腫瘍に対し ACNU 大量療法を併用した同種造血幹細胞移植の検討. 第 33 回日本造血細胞移植学会総会, 2011.
- 261) Yamamoto Y, Yoshikawa M, Tomoda K, Yamauchi M, Fukuoka A, Tamaki S, Koyama N, Kimura H: Circulating ghrelin and adipocytokine levels in patients with chronic obstructive pulmonary disease. American Thoracic Society International Conference, 2010.
- 262) Yamauchi M, Tamaki S, Yoshikawa M, Ohnishi Y, Nakano H, Kimura H: CPAP acceptance and resting awake breathing irregularity in obstructive sleep apnea. American Thoracic Society International Conference 2010.
- 263) Tomoda K, Yoshikawa M, Kubo K, Yamamoto Y, Nakamura A, Yamauchi M, Hamada K, Kimura H: Discontinuous feeding with fiber-free diet accelerates elastase-induced emphysema in rats. American Thoracic Society International Conference, 2010.
- 264) Nakamura A, Hamada K, Sakai Y, Matsumoto K, Kimura H: Oral administration of a new prostacyclin agonist with a thromboxane synthase inhibitory activity improves bleomycin-induced lung fibrosis. European Respiratory Society Annual Congress, 2010.
- 265) Ota H, Tamaki S, Itaya-Hironaka A, Sakuramoto-Tsuchida S, Yamauchi A, Morioka T, Takasawa S, Kimura H: Direct effects of intermittent hypoxia on pancreatic beta cell function and proliferation. European Respiratory Society Annual Congress, 2010.
- 266) 木村弘, 山谷睦雄: 呼吸器科勤務医/専門医の現状—呼吸器診療医師の増加策をめざした取り組み. 日本呼吸器学会将来計画委員会特別報告, 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 267) 太田浩世, 木村弘: β 細胞機能と SAS.(シンポジウム:全身性疾患としての睡眠時無呼吸症候群), 第 50 回日本

- 呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 268) 中村篤宏, 桜井正樹, 真貝隆之, 三浦幸子, 高濱潤子, 今井照彦, 吉川雅則, 濱薫, 木村弘: MDCT (multidetected-row CT)による肺高血圧症例の検討. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 269) 須崎康恵, 濱田薫, 友田恒一, 吉川雅則, 木村弘: 肺気腫形成に抑制的な機能を有する T 細胞についての検討. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 270) 友田恒一, 吉川雅則, 久保薫, 山本佳史, 中村篤宏, 濱田薫, 木村弘: エラストナーゼ誘導肺気腫は繊維除去食および欠食で促進する. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 271) 山本佳史, 吉川雅則, 山内基雄, 友田恒一, 福岡篤彦, 玉置伸二, 児山紀子, 三嶋理晃, 木村弘: 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の栄養状態および併存症の実態調査. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 272) 吉川雅則, 友田恒一, 山本佳史, 山内基雄, 児山紀子, 玉置伸二, 福岡篤彦, 木村弘: 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者における血中グレリンとアディポサイトカインの検討. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 273) 山内基雄, 玉置伸二, 友田恒一, 吉川雅則, 大西徳信, 中野博, 木村弘: 混合型睡眠時無呼吸は閉塞型睡眠時無呼吸として扱ってよいか? 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 274) 玉置伸二, 友田恒一, 山本佳史, 児山紀子, 山内基雄, 吉川雅則, 濱田薫, 木村弘: 当院における肺非結核性抗酸菌症の検討. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 275) 田村猛夏, 田村緑, 久下隆, 岡村英生, 塚口勝彦, 畠山雅行, 徳山猛, 成田亘啓, 木村弘: アスベスト検診で発見された肺がん症例の検討. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
- 276) 太田浩世, 木村弘: 低酸素における臍臓 B 細胞障害. (シンポジウム: SAS と糖尿病). 日本睡眠学会第35回定期学術集会, 2010.
- 277) 大西徳信, 上森栄和, 中井正之, 千崎 香, 伊藤典子, 中野博, 木村弘: 睡眠時無呼吸症候群診断後の末端肥大症の合併発見例について. 日本睡眠学会第35回定期学術集会, 2010.
- 278) 山内基雄, 玉置伸二, 吉川雅則, 大西徳信, 中野博, 木村弘: CPAP acceptance 予測因子としての覚醒時呼吸不規則性の可能性. 日本睡眠学会第35回定期学術集会, 2010.
- 279) 藤田幸男, 吉川雅則, 山本佳史, 友田恒一, 福岡篤彦, 山内基雄, 児山紀子, 玉置伸二, 木村弘: 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者の骨塩量と QOL および運動能との関連. 第20回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2010.
- 280) 福岡篤彦, 鴨川浩二, 西林季美, 中森和里, 岩井一哲, 山本夏子, 甲斐吉郎, 国松幹和, 吉川雅則, 木村弘: 「笑い

ヨガ」の呼吸リハビリテーションへの応用のための基礎検討. 第 20 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2010.

- 281) 鴨川浩二, 福岡篤彦, 中森和里, 西林季美, 岩井一哲, 山本夏子, 甲斐吉郎, 国松幹和, 吉川雅則, 木村弘: 「笑いヨガ」の COPD 患者の QOL、うつおよび不安状態に及ぼす影響の臨床的検討. 第 20 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2010.

榊原博樹

- 282) 三重野ゆうき, 林正道, 榊原博樹, 他: 睡眠時無呼吸症候群の終夜ポリグラフでの性差に関する検討. 第 52 回日本呼吸器学会学術講演会, 神戸市, 2012.4.21.
- 283) 三重野ゆうき, 林正道, 榊原博樹, 他: 在宅持続陽圧呼吸療法が有効であったチェーンストークス呼吸症候群の 3 例. 第 101 回ニコン呼吸器学会当会地方学会, 名古屋市, 2012.6.24.
- 284) 榊原博樹, 佐々木文彦: 睡眠呼吸障害の診療における簡易モニターの役割. 日本睡眠学会第 36 回定期学術集会, 京都市, 2011.10.15 (シンポジウム).
- 285) 三重野ゆうき, 榊原博樹, 林正道, 佐々木文彦, 他: 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の性差に関する検討. 日本睡眠学会第 36 回定期学術集会, 京都市, 2011.10.15.
- 286) 佐々木文彦, 榊原博樹, 齊藤八千代, 他: 睡眠呼吸障害患者における自覚

的眠気尺度の特徴. 日本睡眠学会第 36 回定期学術集会, 京都市, 2011.10.15.

- 287) 榊原博樹: 睡眠時無呼吸症候群を中心とした賢い医療連携. 日本呼吸器学会誌 48(増): 37, 2010. (第 50 回日本呼吸器学会学術講演会総会, 京都市, 2010)

宮崎総一郎

- 288) 北村拓朗, 宮崎総一郎: 「睡眠呼吸障害患者における頭位による気道径の変化」第 25 回日本口腔・咽頭科学会総会学術講演会, 熊本市, 2012.6.
- 289) Miyazaki S: Role and impact of Nose on Sleep Disorder Breathing. Royal College of Otolaryngologists-Head and Neck Surgeons of Thailand, Thailand, 2012.4.24-26
- 290) Miyazaki S: Sleep Hygiene in OSA. Advanced Surgical Techniques for Obstructive Sleep Apnea A Hands-On Cadaver Workshop, Saint Louis, 2012.4.26-28
- 291) Miyazaki S: Usefulness of intraesophageal and upper airway pressure monitoring. Instructional Courses, X World Congress on Sleep Apnea, Roma, 2012.8.27-9.1
- 292) Miyazaki S: Nose and Sleep. Lunch with the Professor, X World Congress on Sleep Apnea, Roma, 2012.8.27-9.1
- 293) Miyazaki S: Better

understanding of OSAS in view point of Sleep Medicine. Scientific Program, X World Congress on Sleep Apnea, Roma, 2012.8.27-9.1

赤水尚史

- 294) 船橋友美, 竹島健, 若崎久生, 西理宏, 玉川えり, 山岡博之, 宮本和佳, 古川安志, 稲葉秀文, 佐々木秀行, 赤水尚史: チアマゾール使用中にぶどう膜炎を来した HTLV-1 陽性 Basedow 病の一例. 第 55 回日本甲状腺学会学術集会 福岡市 2012.11.29. - 12.1.
- 295) 竹島健, 原田沙耶, 船橋友美, 玉川えり, 山岡博之, 宮本和佳, 古川安志, 稲葉秀文, 若崎久生, 西理宏, 赤水尚史: バセドウ病治療経過中に褐色細胞腫クリーゼを来した 1 例. 第 55 回日本甲状腺学会学術集会, 福岡市, 2012.11.29. - 12.1.
- 296) 稲葉秀文, 竹島健, 古川安志, 船橋友美, 玉川えり, 山岡博之, 宮本和佳, 太田敬之, 若崎久生, 西理宏, 赤水尚史: 妊娠に伴う甲状腺中毒症に関する検討. 第 55 回日本甲状腺学会学術集会, 福岡市, 2012.11.29. - 12.1.
- 297) 宮本和佳, 船橋友美, 玉川えり, 竹島 健, 早川隆洋, 山岡博之, 古川安志, 稲葉秀文, 西理宏, 佐々木秀行, 赤水尚史: 橋本病と木村病に外眼筋腫大と眼瞼腫脹を合併し高 IgG4 血症を呈した一例. 第 55 回日本甲状腺学会学術集会 福岡市, 2012.11.29. - 12.1.
- 298) 古川安志, 松野正平, 玉川えり, 竹島 健, 宮本和佳, 稲葉秀文, 若崎久生, 古田浩人, 西理宏, 佐々木秀行, 赤水尚史: 甲状腺眼症の合併が疑われた多中心性キャスルマン病の一例. 第 55 回日本甲状腺学会学術集会, 福岡市, 2012.11.29. - 12.1.
- 299) 赤水尚史: シンポジウム 2 バセドウ病外科治療の変遷「特別発言」. 第 45 回日本甲状腺外科学会学術集会, 横浜市, 2012.10.4 - 5.
- 300) 石橋達也, 稲葉秀文, 田中宏典, 古川安志, 太田敬之, 若崎久生, 古田浩人, 西理宏, 佐々木秀行, 赤水尚史: 多発性嚢胞腎の経過中に DIHS を来し, 続いて 1 型糖尿病と橋本病を発症した一例. 第 85 回日本内分泌学会学術総会, 名古屋市, 2012.4.19 - 21.
- 301) Takashi Akamizu, Tetsurou Satoh, Osamu Isozaki, Atsushi Suzuki, Shu Wakino, Tadao Iburi, Kumiko Tsuboi, Tsuyoshi Monden, Tsuyoshi Kouki, Naotetsu Kanamoto, Hajime Otani, Satoshi Teramukai, Masatomo Mori : Novel Diagnostic Criteria and Clinico-Epidemiological Features of Thyroid Storm Based on a Japanese Nationwide Survey. Takashi Akamizu, Tetsurou Satoh, Osamu Isozaki, Atsushi Suzuki, Shu Wakino, Tadao Iburi, Kumiko Tsuboi, Tsuyoshi Monden, Tsuyoshi Kouki, Naotetsu Kanamoto, Hajime Otani, Satoshi Teramukai, Masatomo Mori : Novel Diagnostic Criteria and

- Clinico-Epidemiological Features of Thyroid Storm Based on a Japanese Nationwide Survey. ENDO 2012: The 94th Annual Meeting & Expo Houston, USA June 23-26, 2012
- 302) T. Akamizu, N. Sakura, Y. Shigematsu, G. Tajima, A. Ohtake, H. Hosoda, H. Iwakura, H. Ariyasu, K. Kangawa : Plasma ghrelin levels appeared to be elevated in patients with medium-chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency and glutaric aciduria type II: Evidence for that acyl-CoA is the substrate for ghrelin acylation. 15th International & 14th European Congress of Endocrinology (ICE/ECE 2012) Florence, Italy May 5-9, 2012
- 303) 有安宏之, 岩倉 浩, 寒川賢治, 中尾一和, 赤水尚史: 全身性強皮症患者における消化管障害に対するグレリンの臨床効果に関するクロスオーバー試験. 第 85 回日本内分泌学会学術総会, 名古屋市, 2012.4.19 - 21.
- 304) 稲葉秀文, 赤水尚史, Leslie J De Groot : シンポジウム 2 自己免疫機序と内分泌代謝疾患「バセドウ病の免疫学的成因解析と新規治療法開発」. 第 85 回日本内分泌学会学術総会, 名古屋市, 2012.4.19 - 21.
- 305) 有安宏之, 岩倉浩, 村山敏典, 湯川尚一郎, 吉村健一, 横出正之, 三森経世, 中尾一和, 寒川賢治, 赤水尚史: 全身性強皮症患者における消化管障害に
 対するグレリンの臨床効果に関するクロスオーバー試験. 第 109 回日本内科学会講演会, 京都市, 2012.4.13 - 15.
- 306) 赤水尚史: The Year 2 「甲状腺」. 第 21 回臨床内分泌代謝 Update, 浜松市, 2012.1.27 - 28.
- 307) 高木伴幸, 形部裕昭, 中谷宗幹, 古川安志, 太田敬之, 石橋達也, 松野正平, 稲葉秀文, 中川貴之, 若崎久生, 古田浩人, 西理宏, 中尾大成, 佐々木秀行, 赤水尚史: 偽性副甲状腺機能低下症に洞不全症候群を合併した 1 例. 第 21 回臨床内分泌代謝 Update, 浜松市, 2012.1.27 - 28.
- 308) 松野正平, 原田沙耶, 井畑淳子, 太田敬之, 高木伴幸, 若崎久生, 古田浩人, 西理宏, 佐々木秀行, 赤水尚史: 妊娠中に発見された糖尿病から診断に至った Cushing 症候群の 1 例. 第 21 回臨床内分泌代謝 Update, 浜松市, 2012.1.27 - 28.
- 309) 鈴木敦詞, 佐藤哲郎, 磯崎収, 脇野修, 飯降直男, 坪井久美子, 門傳剛, 幸喜毅, 金本巨哲, 大谷肇, 手良向聡, 赤水尚史: 臨床重要課題 I 「粘液水腫昏睡・甲状腺クリーゼ」 3. 甲状腺クリーゼ診断基準 (第一版) 改訂と治療指針作成に向けての検証—全国疫学調査の結果を踏まえて—. 第 54 回日本甲状腺学会学術集会, 大阪市, 2011.11.21 - 23.
- 310) 稲葉秀文, Leonard Moise, William Martin, Anne De Groot, 駒津光久, 赤水尚史: TSH レセプター (TSH-R) 蛋白/ペプチドにより免疫さ

- れた HLA-DR3 トランスジェニックマウスにおけるエピトープ認識と T 細胞受容体結合モチーフ. 第 54 回日本甲状腺学会学術集会, 大阪市, 2011.11.21 - 23.
- 311) 渡邊幹夫, 井上直哉, 森田麻美, 巽圭太, 日高洋, 赤水尚史, 岩谷良則: IL5, IL6, IL13 遺伝子プロモータ領域の一塩基多型を用いた自己免疫性甲状腺疾患の病態予後予測. 第 54 回日本甲状腺学会学術集会, 大阪市, 2011.11.21 - 23.
- 312) 玉川えり, 田中宏典, 太田敬之, 宮本和佳, 山岡博之, 村田有子, 若崎久生, 古田浩人, 西理宏, 佐々木秀行, 赤水尚史: 精神症状を呈し抗 NAE 抗体陽性で橋本脳症が疑われた粘液水腫の 1 例. 第 54 回日本甲状腺学会学術集会, 大阪市, 2011.11.21 - 23.
- 313) 有安宏之, 岩倉浩, 勝浦五郎, 後藤伸子, 越智ゆかり, 山下唯, 赤水尚史, 寒川賢治, 中尾一和: グレリン分泌低下マウスの絶食・再摂食およびストレス状況下における摂食調節についての検討. 第 54 回日本甲状腺学会学術集会, 大阪市, 2011.11.21 - 23.
- 314) Hidefumi Inaba, Leonard Moise, William Martin, Anne Searls De Groot, George Buchman, Takashi Akamizu, Leslie J. De Groot: Epitope recognition in HLA-DR3 transgenic mice immunized to TSH-R protein or peptides. 81st Annual Meeting of the ATA Indian Wells, USA October 26-30, 2011
- 315) 渡邊幹夫, 井上直哉, 森田麻美, 巽圭太, 日高洋, 赤水尚史, 岩谷良則: IL-5、IL-6、IL-13 遺伝子プロモータ領域の多型と自己免疫性甲状腺疾患の病態予後との関連. 遺伝医学合同学術集会 2011, 京都市, 2011.6.16 - 19.
- 316) T Akamizu, K Kangawa: Ghrelin: Physiological Significance & Therapeutic Potential. ENDO 2011: The Endocrine Society's 93rd Annual Meeting and Expo Boston, USA June 4-7, 2011
- 317) H Iwakura, H Ariyasu, H Hosoda, K Hosoda, K Nakao, K Kangawa, T Akamizu: Effects of Peptide Hormones and Neurotransmitters on In Vitro Ghrelin Secretion by Ghrelin-Producing Cell Line, MGN3-1. ENDO 2011: The Endocrine Society's 93rd Annual Meeting and Expo Boston, USA June 4-7, 2011
- 318) 赤水尚史, 寒川賢治: ミニシンポジウム 6 悪液質の研究と臨床の展開「カヘキシアに対するグレリンの臨床応用」. 第 84 回日本内分泌学会学術総会, 神戸市, 2011.4.21 - 23.
- 319) 赤水尚史: クリニカルアワー 3 厚生労働省 ホルモン受容機構異常に関する調査研究班報告「甲状腺クリーゼに関する全国疫学調査」. 第 84 回日本内分泌学会学術総会, 神戸市, 2011.4.21 - 23.

- 320) 赤水尚史, 有安宏行, 岩倉浩, 寒川賢治: クリニカルアワー7 厚生労働省難治性疾患克服研究事業 中枢性摂食異常症班報告「神経性食欲不振症における新規治療薬としてのグレリン」. 第84回日本内分泌学会学術総会, 神戸市, 2011.4.21 - 23.
- 321) 山岡博之, 西理宏, 若崎久生, 下村裕子, 中野好夫, 古田浩人, 佐々木秀行, 南條輝志男, 赤水尚史: 粘液水腫昏睡の経過中に副腎皮質機能低下症が顕在化した1例. 第84回日本内分泌学会学術総会, 神戸市, 2011.4.21 - 23.
- 322) 大星隆司, 廣峰義久, 山内孝哲, 岸谷讓, 小河健一, 赤水尚史, 南條輝志男: 内臓脂肪蓄積を認める糖尿病患者の臨床像. 第84回日本内分泌学会学術総会, 神戸市, 2011.4.21 - 23.
- 323) 有安宏行, 岩倉浩, 赤水尚史, 山田豪, 寒川賢治, 中尾一和: 後天的グレリン分泌低下マウスを用いたグレリン生理的役割の検討. 第84回日本内分泌学会学術総会, 神戸市, 2011.4.21 - 23.
- 324) 吉松卓, 松野正平, 石橋達也, 中野好夫, 若崎久生, 古田浩人, 西理宏, 佐々木秀行, 南條輝志男, 赤水尚史: 自己免疫性下垂体炎の3例. 第84回日本内分泌学会学術総会, 神戸市, 2011.4.21 - 23.
- 325) 岩倉浩, 有安宏行, 細田洋司, 細田公則, 中尾一和, 寒川賢治, 赤水尚史: 新規グレリン分泌細胞株 MGN3-1 を用いたグレリン分泌調節の検討. 第84回日本内分泌学会学術総会, 神戸市, 2011.4.21 - 23.
- 326) 赤水尚史: 臨床内分泌入門 6「甲状腺クリーゼの診断と治療」. 第20回臨床内分泌代謝 Update, 札幌市, 2011.1. - 29.
- 327) 高木伴幸, 中山宜昭, 坂頭節哉, 下村裕子, 中野好夫, 若崎久生, 古田浩人, 西理宏, 佐々木秀行, 南條輝志男, 赤水尚史: 急速に呼吸不全の進行した SIADH 合併筋萎縮性側索硬化症の一例. 第20回臨床内分泌代謝 Update, 札幌市, 2011.1. - 29.
- 328) T Akamizu: Diagnosis and epidemiology thyroid crisis. 14th Asia-Oceania Congress of Endocrinology Kuala Lumpur, Malaysia December 2-5, 2010
- 329) T Akamizu: Subclinical hyper/hypothyroidism. 14th Asia-Oceania Congress of Endocrinology Kuala Lumpur, Malaysia December 2-5, 2010
- 330) 磯崎収, 佐藤哲郎, 鈴木敦詞, 脇野修, 飯降直男, 坪井久美子, 門傳剛, 幸喜毅, 大谷肇, 手良向聡, 赤水尚史: 「甲状腺クリーゼ」1. 全国疫学調査と診断基準 (第一版) の検証. 第53回日本甲状腺学会, 長崎市, 2010.11.11-13.
- 331) 有安宏之, 岩倉浩, 赤水尚史, 山田豪, 中尾一和, 寒川賢治: 後天的グレリン分泌低下マウスにおける成長ホルモン分泌の検討. 第37回日本神経内分泌学会学術集会, 京都市, 2010.10.22 - 23.

332) Akamizu T : Pathophysiology and Pathogenesis of Graves' disease. 14th International Thyroid Congress Paris, France September 11-16, 2010.

333) Akamizu T : Ethnic differences in the Genetics of AITD. 14th International Thyroid Congress Paris, France September 11-16, 2010.

別所和久

334) 磯部悠, 家森正志, 喜早ほのか, 田村佳代, 高橋克, 別所和久 : 顎変形症患者におけるセファロメトリーによる形態学的評価と中枢気道抵抗の関係についての横断的研究, 第 22 回日本顎変形症学会総会, 福岡市, 2012.6.18-19.

335) 喜早ほのか, 家森正志, 小林友里恵, 磯部悠, 田村佳代, 高橋克, 別所和久 : 顎変形症患者における術前の顎顔面形態と中枢気道抵抗に関する検討, 第 43 回 日本口腔外科学会近畿地方会, 大阪市, 2012.6.23.

336) 家森正志, 磯部悠, 喜早ほのか, 田村佳代, 高橋克, 別所和久 : Ricketts 法による形態学的評価と中枢気道抵抗の関係について～顎変形症患者における横断的研究～, 日本睡眠学会定期学術集会, 横浜市, 2012.6.28.

337) 家森正志, 三島清香, 喜早ほのか, 田村佳代, 高橋克, 小賀徹, 外山善朗, 東正徳, 原田有香, 陳和夫, 別所和久 : 顎変形症患者における咽頭気道形態と

中枢気道抵抗に関する検討—CT と中枢気道抵抗によるパイロット研究—, OHOK Study, 平成 24 年度総会, 京都市, 2012.12.7.

338) 田村佳代, 家森正志, 磯部悠, 喜早ほのか, 高橋克, 別所和久 : 顎矯正手術前後のセファロメトリーによる口腔咽頭腔の形態学的評価と上気道抵抗測定による機能的評価, 第 21 回日本顎変形症学会総会, 東京, 2011.6.15-17.

339) 家森正志, 高橋克, 小林友里恵, 磯部悠, 喜早ほのか, 田村佳代, 外山善朗, 村瀬公彦, 小賀徹, 相原顕作, 荻原雄一, 原田有香, 人見健文, 陳和夫, 別所和久 : 顎変形症患者におけるセファロメトリーによる形態学的評価と中枢気道抵抗との関係についての横断的研究, OHOK Study, 平成 23 年度総会, 京都市, 2011.12.10.

340) 吉田信介, 家森正志, 田村佳代, 喜早ほのか, 高橋克, 別所和久 : 顎変形症患者における顎骨移動手術に伴うセファロメトリーによる口腔咽頭腔の形態学的評価と閉塞性睡眠時無呼吸障害に関する研究—第 1 報 気道抵抗の計測—第 160 回京都歯科口腔外科集談会, 京都市, 2010.12.19.

吉田和也

341) Yoshida K : Glycated hemoglobin improvement by oral appliance therapy in obstructive sleep apnea syndrome patients with diabetes mellitus. 10th World

Conference on Sleep Apnea. Roma,
2012.8.27-9.1.

2011.10.16-20.

342) Yoshida K : Functional brain imaging in response to oral and cognitive tasks assessed by near-infrared spectroscopy in obstructive sleep apnea syndrome. 10th World Conference on Sleep Apnea. Roma, 2012, 8.27-9.1.

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

343) 吉田和也, 福原紫津子, 小川卓二, 大野純, 兵行忠 : 睡眠時無呼吸症候群の口腔内装置治療が高血圧と HbA1c に及ぼす影響 第 57 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 横浜市, 2012. 10. 19-21.

344) Yoshida K : Brain functions in response to oral and cognitive tasks assessed by near-infrared spectroscopy in obstructive sleep apnea syndrome. Worldslepp2011 (The 6th World Congress of the World Sleep Federation) and the 36th Annual Meeting of Japanese Society of Sleep Research. Kyoto, 2011, 10, 16-20.

345) Yoshida K : Glycated hemoglobin improvement by oral appliance therapy in obstructive sleep apnea syndrome patients with diabetes mellitus. Worldslepp2011 (The 6th World Congress of the World Sleep Federation) and the 36th Annual Meeting of Japanese Society of Sleep Research. Kyoto,

(資料 1) 漢方アンケート

健康と暮らしについてのアンケート (漢方)

このアンケートは生活習慣病を少なくするための生活習慣の変化が、健康状態の変化などと、どのような関連があるのかを調べることを目的としています。お答えいただいたアンケートの内容は、すべて統計的に処理され、病気の予防や治療の効果などの研究などに役立てられます。いただいた情報についてプライバシーは厳しく守られます。アンケートにお答えいただかなくても、あなた様の不利益になることは一切ございません。このアンケートにお答えいただくことによって、この調査に参加していただいたことと考えさせていただきます。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、この研究の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記入日 平成 年 月 日

ふりがな
お名前

お 年 歳

身 長 cm

体 重 kg

病院用整理欄

確認済み

○治療前・未治療

○治療後 年 か月 (CPAP、マウスピース、その他)

ID 番号 _____

あなたの健康状態についておうかがいします。

問1 あなたの健康状態は？（一番よくあてはまる番号に○印をつけてください。）

1 最高に良い	4 あまり良くない
2 とても良い	5 良くない
3 良い	

問2 1年前と比べて、現在の健康状態はいかがですか。（一番よくあてはまる番号に○印をつけてください。）

1 1年前より、はるかに良い	4 1年前ほど、良くない
2 1年前よりは、やや良い	5 1年前より、はるかに悪い
3 1年前と、ほぼ同じ	

問3 以下の質問は、日常よく行われている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をすることがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。（ア～コまでのそれぞれの質問について、あてはまる番号に○をつけてください）

	とても むずかしい	すこし むずかしい	ぜんぜん むずかしくない
ア) <u>激しい活動</u> 、例えば、一生けんめい走る、重い物を持ち上げる、激しいスポーツをするなど	→ 1	→ 2	→ 3
イ) <u>適度の活動</u> 、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩するなど	→ 1	→ 2	→ 3
ウ) 少し重い物を持ち上げたり、運んだりする（例えば買い物袋など）	→ 1	→ 2	→ 3
エ) <u>階段を数階上</u> までのぼる	→ 1	→ 2	→ 3
オ) <u>階段を1階上</u> までのぼる	→ 1	→ 2	→ 3
カ) 体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ	→ 1	→ 2	→ 3
キ) <u>1キロメートル以上</u> 歩く	→ 1	→ 2	→ 3
ク) <u>数百メートル</u> くらい歩く	→ 1	→ 2	→ 3
ケ) <u>百メートル</u> くらい歩く	→ 1	→ 2	→ 3
コ) 自分でお風呂に入ったり、着がえたりする	→ 1	→ 2	→ 3

問4 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。（ア～エまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまる番号に○をつけて下さい）

過去1カ月間のうち	いつも	ほとんど	ときどき	まれに	ぜんぜん
ア) 仕事やふだんの活動をする <u>時間</u> をへらした	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5
イ) 仕事やふだんの活動が思ったほど、 <u>できなかった</u>	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5
ウ) 仕事やふだんの活動の <u>内容</u> によっては、 <u>できないものがあった</u>	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5
エ) 仕事やふだんの活動をする <u>ことがむずかしかった</u>	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5

（例えばいつもより努力を必要としたなど）

問5 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、心理的な理由で（例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために）、次のような問題がありましたか。（ア～ウまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまる番号に○をつけて下さい）

過去1カ月間のうち	いつも	ほとんど	ときどき	まれに	ぜんぜん
ア) 仕事やふだんの活動をする <u>時間</u> をへらした	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5
イ) 仕事やふだんの活動が思ったほど、 <u>できなかった</u>	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5
ウ) 仕事やふだんの活動がいつもほど、 <u>集中してできなかった</u>	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5

問6 過去1カ月間に、家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんにつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらいさまたげられましたか。（一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

1 ぜんぜん、さまたげられなかった	4 かなり、さまたげられた
2 わずかに、さまたげられた	5 非常に、さまたげられた
3 すこし、さまたげられた	

問7 過去1カ月間に、体の痛みをどのくらい感じましたか。（一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

1 ぜんぜんなかった	4 中くらいの痛み
2 かすかな痛み	5 強い痛み
3 軽い痛み	6 非常に激しい痛み

問8 過去1カ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）が痛みのために、どのくらいさまたげられましたか。（一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 ぜんぜん、さまたげられなかった | 4 かなり、さまたげられた |
| 2 わずかに、さまたげられた | 5 非常に、さまたげられた |
| 3 すこし、さまたげられた | |

問9 次にあげるのは、過去1カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。（ア～ケまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

	いつも	ほとんど	ときどき	まれに	ぜんぜん
過去1カ月間のうち					
ア) 元気いっぱいでしたか	→ 1 2 3 4 5
イ) かなり神経質でしたか	→ 1 2 3 4 5
ウ) どうにもならないくらい、 気分がおちこんでいましたか	→ 1 2 3 4 5
エ) おちついていて、 おだやかな気分でしたか	→ 1 2 3 4 5
オ) 活力（エネルギー）にあふれていましたか	→ 1 2 3 4 5
カ) おちこんで、ゆううつな気分でしたか	→ 1 2 3 4 5
キ) 疲れはてていましたか	→ 1 2 3 4 5
ク) 楽しい気分でしたか	→ 1 2 3 4 5
ケ) 疲れを感じましたか	→ 1 2 3 4 5

問10 過去1カ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由でどのくらいさまたげられましたか。（一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

- | | |
|-----------|----------|
| 1 いつも | 4 まれに |
| 2 ほとんどいつも | 5 ぜんぜんない |
| 3 ときどき | |

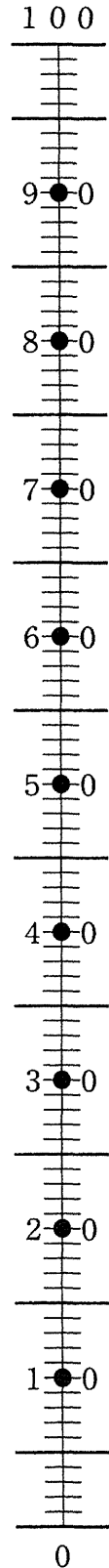
問11 次にあげた各項目は、どのくらいあなたにあてはまりますか。（ア～エまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

	まったく	そのとおり	ほぼ	あてはまる	何とも	言えない	ほとんど	あてはまらない	ぜんぜん	あてはまらない
ア) 私は他の人に比べて病気になりやすい と思う	→ 1 2 3 4 5					
イ) 私は、人並みに健康である	→ 1 2 3 4 5					
ウ) 私の健康は、悪くなるような気がする	→ 1 2 3 4 5					
エ) 私の健康状態は非常に良い	→ 1 2 3 4 5					

問12 健康状態がどれぐらい良いか悪いかを人々が述べるのを手助けするために、(温度計にいくぶん似た)目盛を描きました。あなたが想像できる最も良い状態に100、また、あなたが想像できる最も悪い状態には0が付けられています。

あなた自身の今日の健康状態がどれぐらい良いか悪いか、あなたの考えでこの目盛に示して下さい。このことは、あなたの現在の健康状態がその程度良いか悪いかを示す目盛の点まで、一本の線を引くことで行って下さい。

想像できる
最も良い
健康状態



想像できる
最も悪い
健康状態

運動についておうかがいします。

問13 あなたは、次のような運動を、どのくらいの頻度で行いますか。

(1)~(3)のそれぞれの運動のタイプ別にお答え下さい。

また、行うものについては、1回あたりの時間もお知らせください。

(1) 軽い運動 (例：散歩・木工・草取り・一般的な家事・自転車の修理) (○は1つだけ)

1	1週間に3回以上	}	→	1回あたり およそ	[] 時間	[] 分
2	1週間に1~2回					
3	1カ月に1~3回					
4	しない・ほとんどしない					

(2) 中程度の運動 (例：床磨き・車磨き・ダンス・ゴルフ・サイクリング・飾り付け・芝生刈り・ゆっくり泳ぐ・ウォーキング) (○は1つだけ)

1	1週間に3回以上	}	→	1回あたり およそ	[] 時間	[] 分
2	1週間に1~2回					
3	1カ月に1~3回					
4	しない・ほとんどしない					

(3) 激しい運動 (例：ジョギング・速いペースで泳ぐ・テニス・穴掘り・自転車競走) (○は1つだけ)

1	1週間に3回以上	}	→	1回あたり およそ	[] 時間	[] 分
2	1週間に1~2回					
3	1カ月に1~3回					
4	しない・ほとんどしない					

問14 あなたの運動量は十分と感じていますか。次の中からあなたのお感じに最も近いものを1つ選んで下さい。(○は1つだけ)

1	十分に運動をしている
2	運動をしているが、十分ではない
3	運動をしたいが、していない
4	運動は必要ない

眠気についておうかがいします

問15 もし、以下の状況になったとしたら、どのくらいうとうとする（数秒～数分眠ってしまう）と思いますか。最近の日常生活を思い浮かべてお答えください。

以下の状況になったことが実際になくても、その状況になればどうなるかを想像してお答え下さい。（1～8の各項目で、○は1つだけ）
すべての項目にお答えしていただくことが大切です。
できる限りすべての項目にお答えください。

うとうと する可能 性はほと んどない	うとうと する可能 性は少し ある	うとうと する可能 性は半々 くらい	うとうと する可能 性が高い
------------------------------	----------------------------	-----------------------------	----------------------

- | | | | | |
|---------------------------------|-----|---------|---------|---------|
| 1) すわって何かを読んでいるとき（新聞、雑誌、本、書類など） | → 0 | 1 | 2 | 3 |
| 2) すわってテレビを見ているとき | → 0 | 1 | 2 | 3 |
| 3) 会議、映画館、劇場などで静かにすわっているとき | → 0 | 1 | 2 | 3 |
| 4) 乗客として1時間続けて自動車に乗っているとき | → 0 | 1 | 2 | 3 |
| 5) 午後に横になって、休息をとっているとき | → 0 | 1 | 2 | 3 |
| 6) すわって人と話をしているとき | → 0 | 1 | 2 | 3 |
| 7) 昼食をとった後（飲酒なし）、静かにすわっているとき | → 0 | 1 | 2 | 3 |
| 8) すわって手紙や書類などを書いているとき | → 0 | 1 | 2 | 3 |

過去1ヵ月間におけるあなたの通常の睡眠の習慣についておたずねします。
過去1ヵ月間について大部分の日の昼と夜とを考慮して、以下のすべての質問項目にできる限り正確にお答えください。

問16 過去1ヵ月間において、通常何時ごろ寢床につきましたか。

就寝時刻 （1 午前 2 午後） 時 分ころ

問17 過去1ヵ月間において、寢床についてから眠るまでどれくらい時間を要しましたか。

約 分

問18 過去1ヶ月間において、通常何時ごろ起床しましたか。

起床時刻 （1 午前 2 午後） 時 分ころ

問19 過去1ヵ月間において、実際の睡眠時間は何時間ぐらいでしたか。
 これは、あなたが寢床の中にいた時間とは異なる場合があります。

睡眠時間 1日平均 約 時間 分

問20 過去1ヵ月間において、どれくらいの頻度で、以下の理由のために睡眠が困難でしたか。最もあてはまるものに1つ○印をつけてください。

(a.~j.それぞれ○は1つずつ)

なし	1週間に1回未満	1週間に1~2回	1週間に3回以上
----	----------	----------	----------

a. 寢床についてから30分以内に眠ることができなかったから	→	1	2	3	4
b. 夜間または早朝に目がさめたから	→	1	2	3	4
c. トイレに起きたから	→	1	2	3	4
d. 息苦しかったから	→	1	2	3	4
e. 咳が出たり、大きないびきをかいたから	→	1	2	3	4
f. ひどく寒く感じたから	→	1	2	3	4
g. ひどく暑く感じたから	→	1	2	3	4
h. 悪い夢をみたから	→	1	2	3	4
i. 痛みがあったから	→	1	2	3	4
j. 上記以外の理由があれば、次の空欄にご記入の上、その頻度もお知らせください。	→	1	2	3	4
()								

問21 過去1ヵ月間において、ご自分の睡眠の質を全体として、どのように評価しますか。
 (○は1つだけ)

1 非常によい	3 かなりわるい
2 かなりよい	4 非常にわるい

問22 過去1ヵ月間において、どのくらいの頻度で、眠るためにくすりを服用しましたか。
 (医師から処方された薬あるいは薬局で買った薬)。(○は1つだけ)

1 なし	3 1週間に1~2回
2 1週間に1回未満	4 1週間に3回以上

問23 過去1ヵ月間において、どのくらいの頻度で、車の運転や食事中や社会活動中などに眠ってはいけない時に、おきていられなくなり困ったことがありましたか。
 (○は1つだけ)

1 なし	3 1週間に1~2回
2 1週間に1回未満	4 1週間に3回以上